

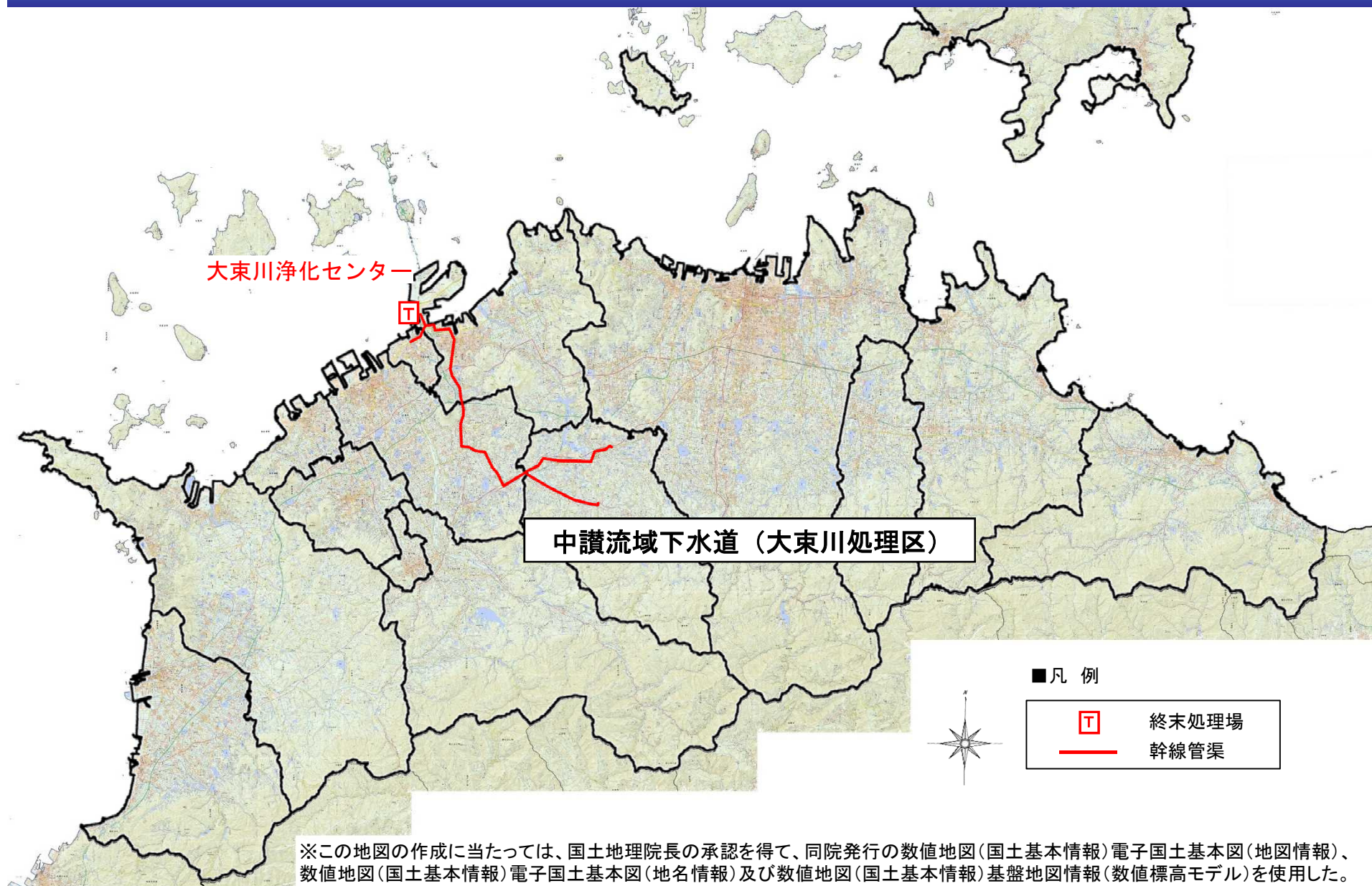
再 評 価 対 象 事 業

社会資本整備総合交付金事業
(流域下水道事業)

中讃流域下水道 (大東川処理区)

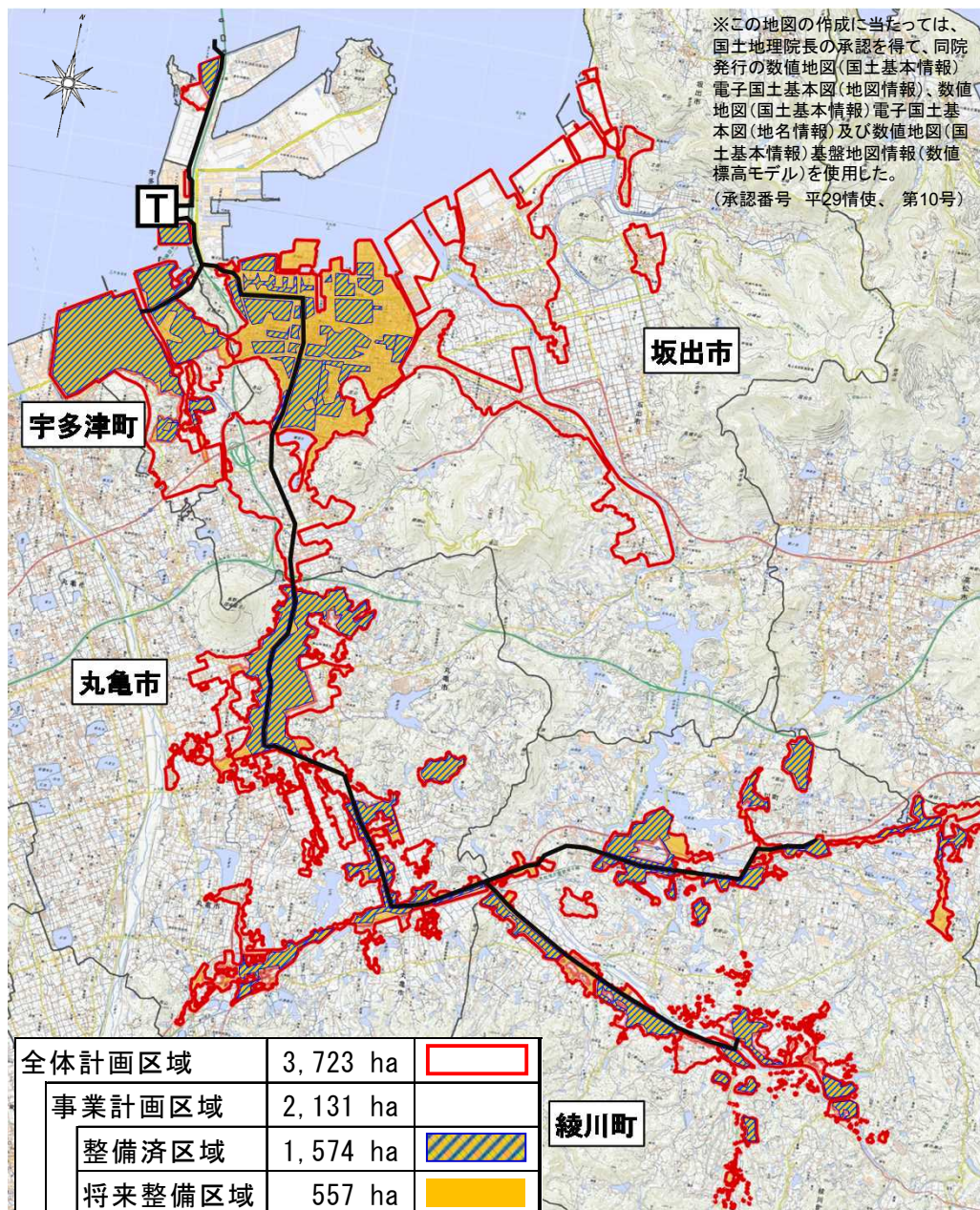
土木部 下水道課

1. 事業概要（位置図）



※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号 平29情使、第10号)

2. 事業概要（管渠の整備状況）



1) 整備状況

① 処理区全体の整備状況

- ・ 昭和52年度（1977年）に事業着手
- ・ 昭和60年度（1985年）に供用を開始

② 幹線管渠の整備状況

- ・ 平成11年度（1999年）に、全延長28.6 km が完成

③ 市町の整備状況

市町名	整備面積 (※1)	処理人口 (※2)	普及率 (※2)	処理水量 (日平均) (※1)
坂出市	322 ha	13,161 人	24.3 %	5,715 m ³ /日
丸亀市	370 ha	8,885 人	30.7 %	2,323 m ³ /日
綾川町	483 ha	9,715 人	39.6 %	3,529 m ³ /日
宇多津町	399 ha	16,346 人	88.4 %	6,026 m ³ /日
合計	1,574 ha	48,107 人	38.2 %	17,593 m ³ /日

※1 H29年度末時点の値

※2 現時点で非公表につきH28年度末時点の値

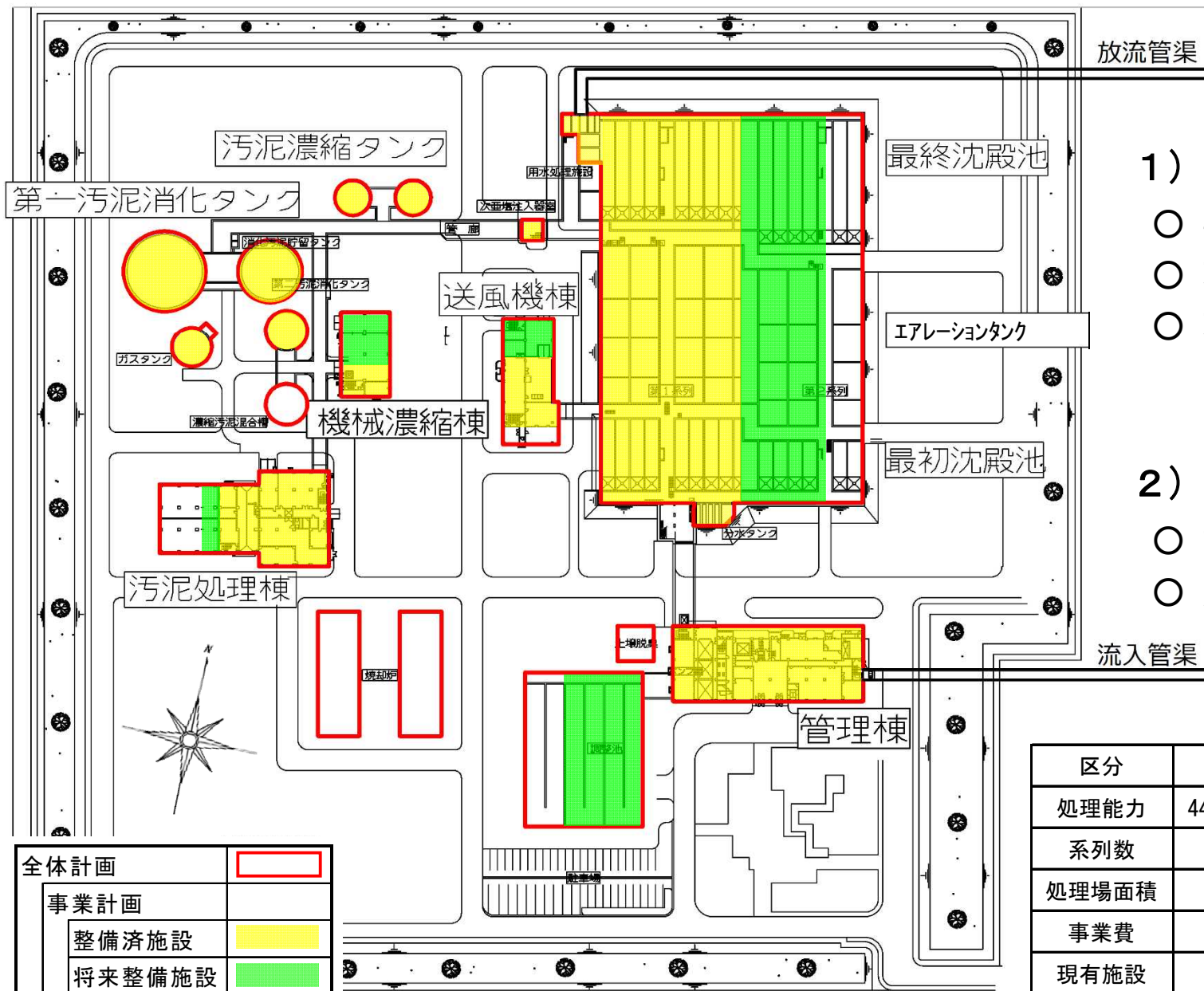
2) 進捗率（平成29年度末）

○ 事業計画に対する面整備率

$$1,574 \text{ (ha)} \div 2,131 \text{ (ha)} = \underline{74 \%}$$

[整備済区域面積] [事業計画区域面積] [面整備率]

3. 事業概要（浄化センターの整備状況）



1) 整備状況

- 事業計画は6池
- 現在4池が整備済
- 現有処理能力は
6,000 (m³/1池) × 4池
= 24,000 (m³/日)

2) 現在の取り組み

- 計画的な老朽化対策
- 施設の耐震対策

区分	全体計画	事業計画 (H36)
処理能力	44,620 (m ³ /日)	35,010 (m ³ /日)
系列数	7/7	6/7
処理場面積	12.1 (ha)	12.1 (ha)
事業費	—	407 億円
現有施設	24,000 (m ³ /日) (4/7系列)	

4. 対応方針（案）

大東川浄化センター全景



最初沈澱池



反応槽



最終沈澱池



流域下水道事業の必要性

- 将来にわたり、公共用水域の良好な水質を確保し続けることが下水道の使命
- 流域下水道事業は、複数市町から出る生活排水などの処理を行っており、海や川などの水質保全に必要不可欠な、極めて公共性の高い重要な事業



進めるべき方向性・留意点

- 下水道整備の進捗や人口減少などを十分に踏まえた柔軟な計画策定と施設整備
- 終末処理場や幹線管渠など、施設の老朽化及び耐震化への遅滞なき対応



公共用水域の水質確保のため、事業の 継続 が必要